



# やまがた



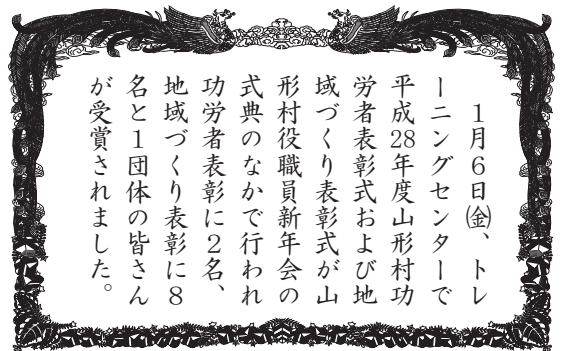
「美食家の館」と「食いしん坊のお家」の二つの意味を持つフレンチレストラン「ラ・メゾン・グルマンディーズ」(塩尻市)のオーナーシェフである友森さん。シェフをする傍ら、地元の人々とともに、生産者と消費者を結びつけるマルシェ(市場)を開いたり、料理教室や子どもへの食育など多くの活動を行っている。「地元産の食材の良さを料理を通して伝えていきたい。みなさんに気軽にフレンチを楽しんでいただきたい」と語ってくれた。

(1月9日 ラ・メゾン・グルマンディーズにて)

**働姿**  
シリーズ

**食の伝道師**

友森隆司さん(上竹田)



◆山形村功労者表彰

「社会福祉功労」

横水 美佐子さん  
住吉 すみさん

長年にわたり民生委員を務め、村の社会福祉の向上に尽力されました。

◆地域づくり表彰

本庄 日出子さん

30年の長きにわたり、書道を通じて子どもたちに礼儀作法を指導し、子どもたちの健全育成に寄与されています。

逢澤 佳丸さん

長年にわたり文化財保護委員会の長として、村の文化財の保護及び歴史の継承に尽力されました。

大月 康史さん

長年にわたり下竹田ふれあい公園の藤棚を手入れし、豊かな地域環境づくりに取り組んでいます。

籠田 次郎さん

10年の長きにわたり通学路の危険な交差点に立ち、通行車両に注意を促すとともに、児童の歩行指導をしながら、児童と地域の安全を見守っていただきました。

宮前 光宏さん

少年野球山形キヨミズの監督として、野球を通じた青少年の健全育成を30年にわたり続けられ、区においても数々の役員を歴任され、区の円滑な運営に寄与されました。

百瀬 邦孝さん

長年にわたり芸術活動をされ、第68回県美術展において知事賞を受賞されるなど、村の文化・芸術の高揚に寄与されました。

平林 和久さん

長年にわたり首都圏村人会の副会長、会長を務められ、ふるさと山形村との交流を積極的に、会員と村民との絆を深めることで地域づくりに貢献されました。

百瀬 敬子さん

子育てに関する悩みを抱えた保護者や教師からの相談、教育や子どもを取りまく様々な問題に関する研修会、講演活動を行うなど、人と人との温かい結び付けに貢献されています。

中大池健康花づくりの会

長年にわたり中大池公民館に花壇を作り、花の育成管理

◆歴史講演会のお知らせ◆

日時 3月4日(土) 午前10時～  
 場所 トレーニングセンター  
 ふるさと大ホール  
 講師 平林 彰さん  
 (長野県埋蔵文化財センター  
 調査部長、日本考古学協会員)  
 テーマ 縄文人の暮らしぶり  
 -山形村の遺跡にふれながら-

施設予約についてのお知らせ

トレーニングセンター、ミラ・フード館、ふれあいドーム、テニスコート、小学校(体育館、グラウンド)の29年度予約については、3月15日(水)から受け付けます。ご不明な点は、トレーニングセンター(98-3155)までお問い合わせください。



に併せた周辺の環境美化、他市町村への研修会、会員間の交流会などを通じて、地域づくり、健康づくり、絆づくりに貢献されました。

山すそ

天候にも恵まれ、穏やかにスタートした2017年。我が家も例年通り家族揃って：：といきたいところでは

あったが、娘たちも成長し、両親もそして私自身も年を重ね、だいぶん越しの風景が変わってきた▼私が嫁に来た頃は早めに「おせち」をつまみに呑みながら夕食。少し片付いたら次は呑みながら紅白歌合戦を観つつ、交代で花札。そして番組が終わる頃、おもむろに義母が席を立ち、そばを茹で、T H E 年越しそばを食べた▼のちに花札は桃太郎電鉄(T Vゲームですごろく)に変わりマージャンに変わり紅白歌合戦は「笑つてはいけない」に変わった▼今回は上の娘は留守。下の娘はアルバイトで遅れて帰宅。そして呑んで義父は眠り、義母も自室へ。3人で年越し前にそばを食べた：：▼でも無事新しい年を迎えた。今年も1年たくさん笑って過ごせたらいいと思う。2日に某書店に行ったらA賞のカニが当たっていた!! いやあ今年も美味しく呑めそうな予感がするなあ。

# 寒さに負けず 公民館講座は熱く活動

## 活き生き塾・冬の料理教室



12月22日(木)、トレーニングセンターで恒例の活き生き塾が開催され、骨を元気にする料理をコンセプトに、鮭と白菜を使ったミルクスープ煮とさけるチーズとじゃがいものサラダを作りました。体も温まるカルシウム満

## 手縫いの布小物



1月10日(火)、トレーニングセンターで3回目の手縫いの布小物講座が行われました。講師に下竹田の川上ひろ子さんをお招きし、前回の作品より難易度が上がったトートバッグ作りをしました。複雑な縫製も必要になってくるため、参加者は黙々と作業に集中していました。

## マグネット吹矢



1月12日(木)、小坂在住の須山信子さんを講師にお招きし開講しました。第1

回である今回は矢を吹く前の一連の動作も行い、呼吸の仕方や作法などもしっかりと学びました。今回はじめて参加された方からは、「思ったより腹筋を使うのいい運動になる」「真ん中に命中すると気持ちがいい」との声も聞きました。

## 都大路を華麗に走る



1位を並走する高安さん(右)

12月25日(日)、全国高校駅伝競争大会が京都市西京極陸上競技場を発着するコースで行われ、女子県代表の長野東高校から山形村出身の高安結衣さん(1年)が出場しました。3区を走った高安さんは2位で受け継いだ襷を優勝校の選手と競い合いながら、区間5位の好走で順位を維持し次走者につなぎました。高安さんの活躍もあり、同校は過去最高順位の6位入賞と好成績を収めました。

## 言寿を祝って

### ホノルルへ



12月11日(日)、ハワイのホノルルで「第44回ホノルルマラソン2016」が開催され、小坂在住の和田大生さんが参加しました。このホノルルマラソンは42・195kmのフルマラソンで、28,675人のエントリーの内11,087人が日本人という人気の大会です。

和田さんは今までに3回出場しており、今回は77歳の喜寿にちなんで目標タイムを7時間7分に設定しのぞみました。当日は残念ながら目標タイムを過ぎてしまいましたが、気持ちエンジョイに切り替え、コース近辺のオーシャンビューなどの現地の風景を堪能しながら完走しました。年齢的にもフルマラソンはこれで最後にしたいと語る和田さんですが、お体に気を付けてまだまだ色々なチャレンジをしていただきたいですね。

## ふるさとプロデューサー 育成支援事業



1月14日(土)、トレンセンにて、ふるさとプロデューサー育成支援事業の研修報告会、長芋レシピお披露目会が行われ、研修生2名による村の特産物長芋をつかった新たな商品開発、提言などが発表されました。

企業や生活マイスターの方々の協力により作られた餃子、スイーツ、おやき、ムースなどがお披露目され、村関係者、参加者の方は村の活性化に繋がると思いをよせていました。



# リ・トリ!

## TORI



昨年、リオ五輪での選手団活躍に湧き、次期アメリカ大統領のトランプ氏決定に微妙な空気が流れた日本。今年「革命・発展の年」と言われるトリ年を迎えました。さて、どんな一年になるのでしょうか。それでは今年の主役、年男と年女の方々へ恒例のインタビューです。

- ①今年挑戦したいこと (やってみたいこと) は?
- ②好きな言葉は?
- ③あなたの元気の源は?
- ④夢は何ですか?

### 子供が活力の素



上條 洋司  
昭和44年生 (中大池)

- ①漢字検定合格!  
娘たちが挑戦しており、自分もやってみようかと思っ  
ている。
- ②一生懸命  
器用ではないですが、与え  
られたことは頑張っ  
てやっ  
てい  
きたい。
- ③子供たち (1男2女)  
仕事などでどんなに疲れて  
いても、子供たちの顔を見て  
いると明日への活力が沸いて  
きます。

④海外旅行  
一度でいいので肉眼でオー  
ロラを見たい。白夜を経験し  
てみたい。ラスベガスに行き  
たい。

### チャレンジの年



籠田 悠香  
平成5年生 (上大池)

- ①何かスポーツをする  
仕事で忙しくて、体を動か  
すことがあまり出来なかつた  
から。
- ②失敗は成功のもと  
この言葉には、何事もやっ  
てみようって気にさせてくれ  
る力がある。
- ③ゲーム・アニメ・マンガ  
好きなキャラクターに癒さ  
れるし、嫌なことも忘れる。
- ④一級建築塗装の資格を取る  
今の仕事がとても好きで、  
これから頑張っ  
てい  
こう  
と思  
っ  
て  
い  
る  
か  
ら。

### 今年結婚



田中 勇樹  
昭和56年生 (上竹田)

- ①結婚  
両親に言われるのと同時に  
人・男として磨きがかかって

きたから。  
②思いやり  
人にやさしくすることで、  
人生が楽しくなるから。  
③お酒  
友達と楽しいお酒を飲むと  
次の日また頑張れる。  
④バイク免許取得  
ツーリングで全国各地を周  
ってみたい。

### 健康で若々しく



百瀬 厚美  
昭和8年生 (下竹田)

- ①自分の健康管理  
やっ  
て  
い  
る  
よ  
う  
で  
出  
来  
て  
い  
ない  
の  
で、  
今  
年  
は  
き  
ち  
ん  
と  
や  
っ  
て  
み  
たい。
- ②：というより心に残っ  
ている言葉として  
「私に恩を返すのではなく  
これからお世話になる人た  
ちに返してくれればいい」  
これは足にケガをし、温泉  
治療のために一ヶ月居候させ  
てもらったご夫婦に言われた  
言葉です。ずっと心に留めて  
います。
- ③1.背すじを伸ばして歩く。  
2.里山を歩く。3.何事にも興  
味・関心を持つ。  
すべては若々しくいるため
- ④1.マチユピチュをこの目

### 部員募集中!



竹野 来美  
平成17年生 (上竹田)

見る。2.新幹線で鹿児島から  
札幌間を一日で移動してみたい。  
3.現在運用準備中の国産  
初のジェット機、「MRJ」  
(三菱リージョナルジェッ  
ト)に乗りた。

①山形JVC (少女バレー)の  
人集め  
現在5人しかいなくて試合  
ができないからです。今まで  
続いてきた少女バレーを終わ  
らせたくないです。

- ②思いやり  
とても大切な事だから好き  
です。
- ③寝ること  
これが一番です。
- ④試合で勝つこと  
人数を増やして、一つでも  
多くの大会に出て上位を目指  
したいです。

### 山形村西年年表

- 昭和32年  
・町村合併の見送り  
・上水道第一期工完了  
両竹田全戸に待望の水  
が出る

### 昭和44年

- ・村でグレーダーを購入  
道路整備等で活躍

# トリート

## 2017 年男年女の主張



### みなさんに感謝



高山美波子  
昭和20年生  
(下竹田)

① 歌会始に詠進すること  
昔から短歌づくりをしていていつか挑戦したいと思っています。

### ② 感謝

いつもみなさんに助けられているので。

③ 友達と美味しいものを食べて、おしゃべりすること。

④ 信州大学名誉教授の大橋俊夫先生の講義を聞きたい  
テレビ松本で放映されている先生の番組がとても分かりやすく、元気がでる話をされているので。

### テニス復活



村田 鋭太  
昭和44年生  
(下大池)

① 沢山動いて健康になる  
デスクワークばかりで運動不足なので、昔やっていたテニスをまた始めたいです。

### ② 道草を食う

目先の物事より、もっと大切なものが脇道には転がっているものです。思いがけない

## 山形村の酉年生まれ

(平成29年1月1日現在)  
(人)

生年	年齢	男	女	計
大正10年	96	1	9	10
昭和8年	84	23	30	53
昭和20年	72	46	48	94
昭和32年	60	42	55	97
昭和44年	48	60	57	117
昭和56年	36	45	55	100
平成5年	24	43	48	91
平成17年	12	49	43	92
平成29年	0	0	0	0
合計		309	345	654

### 親子で羽ばたく



籠田千史 昭和44年生  
渉 平成17年生  
(小坂)

① 出会いや発見で、人としての幅が広がれたらいいですね。  
③ 良い音楽に浸ること  
嫌なことを忘れて、完全にリセットできます。  
少々お酒も入りますが：  
④ 新春恒例のウイーンフィルのニューイヤークンサートに妻と行くこと  
今年のドウダメルは最高でした。

① 子供たちのサポート  
山形キヨミズ会長夫人とし

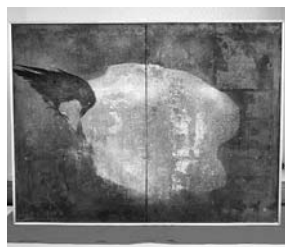
り甲子園だから(渉)

② 今を全力で生きる  
一つ一つのことを大切に、今ある力を全力で注ぐ(千史)  
③ 朝寝坊と『石焼つけ麺』  
野球が休みの時にできる朝寝坊が気持ちいい。『信長』の石焼つけ麺、大好きで食べてると嬉しくなるから(渉)  
④ 季節の花が咲く庭  
抹茶と和菓子でもいただきながら、自慢の庭を眺める。  
最高です！(千史)  
④ 甲子園出場！  
高校野球といえば、やっぱり甲子園だから(渉)

- ・ 村民会館で初めての結婚式が執り行われる
- ・ 小学校に養護学級開設
- ・ 夏の成人式スタート
- ・ 唐沢遺跡の緊急発掘調査を実施
- 昭和56年
  - ・ 村消防団、日本消防協会より「竿頭綬」を初受賞
  - ・ 清水高原祭り、商工会祭初開催
  - ・ 小坂区に初の農村運動公園が完成
  - ・ 役場庁舎建設用地取得
  - ・ 館報300号発行
- 平成5年
  - ・ 公民館副館長 男女2人制スタート
  - ・ 山形消防署設立
  - ・ 20年間親しまれた「清水荘」閉鎖
  - ・ 郷土の偉人中村太八郎「誕生の碑」建立
- 平成17年
  - ・ 全国中学校駅伝大会出場
  - ・ 弁天池で魚霊供養碑の除幕式
  - ・ 村ボランティアセンターで初めてスニーカーキャンペーンを実施
  - ・ 上竹田公会堂完成
- 平成29年
  - ・ さて、今年はどうな年になるのでしょうか！

### 暮らしのスケッチ

昨年十二月多くの方々のご協力により、山形村トレーニングセンターにおいて地元で初めての展覧会を開催させていただきました。「土に立つ者は倒れず／土に活きる者は飢えず／土を護る者は滅びず」は東京農大の初代学長横井時敬氏の言葉ですが、大学で日本画の画材に出会って以来、そんな思いを持ちながら絵を描き続けて四十余年、そして山形村に戻って五年目になります。この間、地元の人たちに私の作品をどのように見てもらえるだろうか、といろいろ考えてきました。丁度、昨年二月の梓川賞展や六月の県展での受賞もあり、是非村で展覧会をやってみたらどうか、との励ましもありまして、思い切ってトレーニングセンターでの開催となりました。



2016年長野県展知事賞「水たまり」



2016年梓川賞展金賞「氷枯」

たな作品の制作に2ヶ月間は没頭していました。子どもの頃の記憶は、田んぼの風景や稲株の一つ一つ、草木の一本一本に染み渡っており、私の制作の芯となり、生きる証ともなっております。日本画という美しい「花鳥風月」を思い浮かべる人が多いのですが、「そんななにげない題材も日本画としての魅力的な題材なんだ。そしてそこに住む人々の思いを描きたい」との思いを少しでも伝えられたらという気持ちが強くなりました。



駆けつけてくれました。また一度見た方が家族やお友達に紹介して下さったりして多くの方々が賛意と励ましを寄せてくださいました。特に、地元農家の方々が作品を見て「懐かしい原風景がここにあった」「今の生活がそのままここに」「ここにいると落ち着く」など共感をもってもらえ、これからの創作と地元で

あり、親戚、旧友、絵の仲間知り合いの方々がいろいろと加勢してくださり、個展には200人もの方々が見に来てくださいました。地元の新聞「市民タイムス」にはインタビュー記事を掲載していただき、「信濃毎日新聞」「タウン情報」でも紹介してくれたこともあり、松本、大町、筑北、塩尻、長野など県内各地から



展覧会会場 (トレセン) にて

の生き様に大きな力を与えてもらった個展でした。これからも大地に生きる人や生き物たちの日常の営みを見つめつつ、「自分らしき」を求め、今を生きる人間としての制作を続けていけたらと思っております。

### 小学校スキー教室

1月13日(金)、鹿島槍スキー場で小学校5・6年生のスキー教室が行われました。雪面にのぞむ児童たちは何度も転んでは立ちを繰り返しながらも、基本の「ハ」の字滑りで猛練習しました。また、すでに滑れる児童も技術の向上を目指し、インストラクターの指導をしっかりと守っていました。



おめでた(子・親)  
安藤栄次郎(コウジロウ) 雄哉 上竹田  
佳織 上竹田  
宮沢 空(ソラ) 大地 上竹田  
由衣 上竹田  
百瀬 紗穂(サホ) 瑛輔 下竹田  
朋実 下竹田

おくやみ  
宮沢 義典 75歳 下竹田  
百瀬 文保 87歳 下竹田  
村上 昭秀 76歳 下竹田  
上條 吉久 91歳 中大池  
野口 成年 97歳 下竹田  
宮澤 紀美 85歳 上竹田  
中村モトミ 98歳 上大池

9日 交通安全祈願祭



活動中の無事故を願って

12月25日～30日 年末特別警戒



パトロールは深夜まで



激励式

年末年始の消防団

365日昼夜を問わず防犯火・消火活動などをしてきている消防団員。我々村民にとって、とてもたくましく頼もしい存在です。安心して暮らせるのも彼のおかげ。心から感謝しています。



厳粛かつ盛大に挙行

9日 山形村消防出初式



1月15日(月)、上天池地区で諏訪神社御柱祭が行われました。区民100名ほどが参加し、御柱の山出し・里曳きを行い、皮むきをした後、建立しました。  
樹齢70年程度の御柱は大きく迫力があります。大池諏訪神社から500mほど下った辻に建立されていますので、皆さんも見に行ってみては？

奥山の大木 里にくだりて神となる



三九郎

豊作や無病息災を祈り 神様を天高くお送りする



# 俳句

山形村俳句クラブ

寄鍋や笑つてすます愁ひごと	上條 清子
よく晴れて越後上布の雪晒	齊藤 善英
実千両進取の気骨卒寿の師	鈴木まゆみ
大櫛寄生木残し冬に入り	青木 弥生
初時雨伏せる煙や鉛色	武居 弘
初明り間遠く聳ゆ八ヶ岳	武居香織留
去年より少し大きめ達磨買う	竹野入恒夫
初鏡若き日の我心と見たり	竹野入美奈子
能始め太鼓大きく波打てり	大沢富久子
くれなゐの紙に力ナ文字筆初め	住吉 愛子
墨の香に負けぬ紙の香筆始め	本庄日出子
凍雲の杉の秀に立つ淑気かな	中村 貞子
初夢やおーロラ燃ゆる北の果て	古畑 房子
夢焚火長芋の里日の暮れよ	上條 治子
的射抜く音の硬さや今朝の春	萩上 憲治
水打ちし藁を寝かすや注連用意	上條 忠昭

# 新春詠

初夢や鳥に身を変えつえばむは	己に巣くう悪しき虫ども	百瀬 章
辞書を引き見慣れぬ漢字探し出し	目を凝らすほど肩も凝り来る	中村 永子
届くたび朴葉の香りする餅は	私の憧るる木曾路へ誘ふ	齊藤由貴子
剪定に散らばる梅の枝拾い	部屋に囲ひぬ春待ちこがれ	齊藤 惇子
歌会に集う仲間それぞれ	人生ありと歌は語らむ	村上 玲子
列島の津々浦々に真田丸	信濃の国の誇りなりけり	横水 昭一
腰を上げ笑う門には福来ると	寒きなか行く落語の会に	百瀬 洋子

# 短歌

山形村短歌会

御嶽海この一番の白星に	笑顔輝く今日は母の日	鈴木 嘉子
亡きがらの祖母を撫でつつ神妙に	杖を添えやる孫は少年	上條さち子
家のこと子に委ねたる悔い残り	米を研ぎつつふと手が止まる	大月美智子
屋下がり小春日和の庭さきに	曾孫と戯れ童となりぬ	百瀬 幸子
この村へ嫁ぎ来たりて幾としつき	道に会ふ人みな親しかり	水谷奈穂美
「雪の庭」今し寒の雪降りて	刻の変化を声呑みて見つ	寺沢 紘子
※「雪の庭」京都清水寺の成就院の庭	晩秋に孫の顔見に北陸へ	小林 政幸
	畦草枯れて藁伸びる	